

## 第4回 日本酒のグローバルなブランド戦略に関する検討会

### 議事要旨

日時：令和元年11月19日（火） 15:30～17:35

出席者：別紙参照

#### ○ 嘉納委員発表

嘉納委員より説明

（発言のポイント）

- ・ ラグジュアリーなものと、大衆向けのものとは両輪であり、どちらのブランド化も重要である。
- ・ ブランド戦略を考えていく中で、海外において、日本酒が最終的にどの程度の価格で売られているか、どの様な客層の反応が良いのか、またそれぞれ各国ごとの市場規模あるいはその市場の成長性を把握することは重要である。
- ・ 各国ごとにサービスの仕方、価値に対する考え方が異なり、酒類に関わるプレイヤーも異なる。海外戦略といっても一緒に話れないし、一つの型にはめて教育を行うと、混乱を招くおそれもある。
- ・ ブランドをピラミッドで語ることが多いが、ピラミッドの土台に相当する大吟醸があれば、ピラミッドの頂点に相当する普通酒もあると考えるべきで、大吟醸が高くて普通酒が安くなければならないわけではない。
- ・ 南米では日本酒を使ったカクテルが作られており、現地ではユニーク、あるいは新しい飲み物として捉えられている。グローバル化や多様性という観点から、伝統的であったり、確立した価値だけではなくこういった創造的な価値への許容も必要である。
- ・ 都市部の富裕層向けだけでなく郊外でも日常の中で日本酒を継続的に飲んでもらえる市場を作っていくことが、一つの大きな市場を作るポイントになるのではないか。
- ・ 輸出を増やすには、流通をしっかり握り、日本酒の価値を誤解のないように伝えていくことが必要である。

#### ○ 水野委員発表

資料1に沿って、水野委員より説明

#### ○ 山本氏発表

資料2に沿って、山本氏より説明

- 澤田氏発表  
資料3に沿って、澤田氏より説明

- 海外需要開拓支援機構発表  
資料4に沿って、加藤氏より説明

- 意見交換

**【商品のブランド化等】**

- ・ バリュー層に届けることとラグジュアリー層に届けることは両方とも非常に重要。どのタイミングで、誰が、誰に対して、どのように、どのような順番で伝えるかを、整理する必要がある。
- ・ 海外において日本酒に対する価値観は精米歩合ではなくなっている。商品の価値は最終的には味わいにより決まる。また、ワインと同様、熟成というものに対する付加価値もある。
- ・ ブランド階層のピラミッドについては、各社のマーケティングの視点によって変わってくる。特定名称酒のプレミアムなものがコモディティー化している可能性があり、是非個性化し、プレミアム階層を守っていくことが重要である。
- ・ 日本酒の業界では、メーカー側が、精米歩合等により付加価値を付けてきたが、流通側からも付加価値を付ける動きがないと、本当の意味での付加価値化はない。
- ・ お酒の中身だけでは付加価値は限界があるはずで、中身以外の部分で付加価値を付けるよう努力し、日本酒の魅力を伝えていくことがベースの底上げにつながる。
- ・ ブランドが充実されても、流通が充実されない限り、売上には結びつかない。まずは流通戦略を固める必要がある。

**【情報発信について】**

- ・ 海外において日本酒の魅力を発信したい者をネットワーク化し、世界中に飲み方等も含めて広める必要。

**【地理的表示等】**

- ・ 日本酒についても、日本ワインのように品質表示基準のようなものを新たに作成する必要がある。

**【価格の多様化】**

- ・ ボルドーワインの格付ではまず販売価格を参考に等級格付が行われ、その格付が150年近くほぼ変わらずに現在まで至っている。市場が決める価格が、ブラン

ディングの面から非常に重要である。

- オークションにより潜在的な流通価格を探り、日本酒の高価格化を狙う取組は非常に興味深い。

## 第4回日本酒のグローバルなブランド戦略に関する検討会 出席者名簿

(敬称略)

### ■委員

小泉 武夫	東京農業大学 名誉教授
デービッド・アトキンソン	株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長
生駒 龍史	株式会社 Clear 代表取締役 CEO
嘉納 健二	白鶴酒造株式会社 代表取締役社長
佐藤 淳	株式会社日本経済研究所 地域本部 上席研究主幹 (常務執行役員)
田崎 真也	一般社団法人日本ソムリエ協会 会長
中川 哲悟	JFC ジャパン株式会社 専務取締役 営業本部長
仲野 益美	出羽桜酒造株式会社 代表取締役社長
水野 直人	黒龍酒造株式会社 代表取締役社長
村田 哲太郎	株式会社 bacchus 代表取締役社長

### ■有識者

澤田 且成	アイディーテンジャパン株式会社 代表取締役 CEO ブランディングディレクター
山本 典正	平和酒造株式会社 代表取締役社長

### ■国税庁

田島 淳志	国税庁次長
杉山 真	国税庁酒税課長
齋藤 隆夫	国税庁酒税企画官
近藤 洋大	国税庁鑑定企画官
石澤 弘樹	国税庁酒税課企画調整官

### ■オブザーバー

渡邊 厚夫	内閣府知的財産戦略推進事務局次長
池山 成俊	農林水産省大臣官房輸出促進審議官
渡邊 洋一	経済産業省貿易経済協力局審議官
後藤 奈美	独立行政法人酒類総合研究所理事長
中 裕伸	独立行政法人日本貿易振興機構農林水産・食品部長
大泉 裕樹	日本食品海外プロモーションセンター事務局長
藤田 礼子	独立行政法人国際観光振興機構企画総室長
加藤 有治	株式会社海外需要開拓支援機構専務取締役 COO 兼 CIO